

令和6年度 鹿児島県「体験の風をおこそう」運動推進事業  
フェスティバル秋 in AMU 広場

- 1 趣 旨 文部科学省「子供の体験活動推進宣言」（令和4年）の実現に向けて、官民が連携し、コロナ禍で奪われた子供の体験の機会を提供するとともに、家族や一般の方々に体験活動の重要性を啓発する。
- 2 主 催 国立大隅青少年自然の家  
（企画運営：鹿児島県「体験の風をおこそう」運動推進事業実行委員会）
- 3 後 援 鹿児島県教育委員会
- 4 期 日 令和6年11月10日（日）
- 5 参加対象 体験活動に興味のある家族・一般の方々
- 6 来場者数 6,568人
- 7 協力団体 県アジア・太平洋農村研修センター、県上野原縄文の森、県立青少年研修センター、県立霧島自然ふれあいセンター、県立南薩少年自然の家、県立奄美少年自然の家、鹿児島市立少年自然の家、出水市青年の家、薩摩川内市立少年自然の家、県総合体育センター、県霧島アートの森、シャボン玉石けん株式会社、株式会社サクラクレパス九州営業所、鹿児島市立広木小学校金管バンド、唄者；永志保
- 8 場 所 JR鹿児島中央駅前AMU広場
- 9 日 程



時間	主な活動内容
9:00	全体打合せ会
10:00	イベント開始 （オープニング・アトラクション；広木小金管バンド）
13:30	島唄ミニコンサート（唄者；永志保さん）
15:00	イベント終了
15:30	全体終礼・解散



10 事業運営上の配慮

- JR九州エージェンシーと連携して、各ブースの広さや配置を工夫し、来場者の動線に配慮した。
- 金管バンド演奏及び島唄ミニコンサートを実施し、集客を図った。
- 前日に地元ラジオ放送での番組において、当イベントの告知（宣伝）を行った。

11 参加ブースの感想

- ◇ 金管バンドの演奏や島唄ミニコンサートなど、出展者も楽しめ、癒やされました。
- ◇ 各地でイベントが多い日の実施であったので来場者数を心配したが、多くの来場があったよかった。
- ◇ 他の施設の創作活動内容等が参考になった。
- ◇ 多くの来場された方々に体験活動のよさや施設の活動プログラムなどを周知することができた。

